

# ひまわり



第15回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 水谷 桂 様

- 2 ▶ 3 あい福の里 特集
- 4 連載vol.35 ● [記録に残したい記憶] ~貴重な体験を語り継ぐ~
- 5 職員リーダー研修会  
連載 ● マジックワード紹介
- 6 ▶ 9 各施設トピックス
- 10 ▶ 11 福寿園ニュース
- 11 家族会だより
- 12 連載 ● New ひまわりギャラリー  
連載 ● ボランティアさんいつも  
ありがとうございます  
連載 ● 外国人介護福祉士候補者  
リレーインタビュー

144号

平成31年3月10日

# 「福祉」の連携で笑顔を生み出します。



あい福の里は農業を通して障がい者の就労機会を生み出し、ネットワークづくりを目指しています。働く場としての農業と、働き手としての障がい者をつなぐこと。そこから多様性に富んだ地域コミュニティを生み出し、食、経済、暮らしを元気にしていきます。

就労継続支援センターあい福の里は、行政や障害関係団体の皆様から熱い声援を受けて平成29年6月に、法人では2番目のA型事業所として開設しました。田原市内にはB型事業所は多くありますが、中間就労を担うA型施設は1カ所だけでした。引きこもりや生活保護受給者の中には一定数の障がい者がいると言われています。障がい者年金をもらうほど重度ではないが、かといって一般就労も出



ます。給食数は一日当たり職員や配食サービスを含めると6500食にもなります。そこへあい福の里で育てた野菜や漬物を小売価格でおろして収入をあげるというモデルになるようチャレンジしていますが、なかなか思うようにいきません。主力農産物は椎茸、南瓜、冬瓜などですが、なかなか献立に反映されないことや生産技術が未熟でスーパーで並ぶような野菜が作れないこと、根菜類は利用者が掘り上げの時に傷つけてしまつて歩留まりが悪いこと等々、試行錯誤の毎日です。最初7aから始まつた露地野菜は1.5haまで増え、余つた野菜は市場に出すのですが、あまり売れなかつたり、ひどいときは受け取つてもらえなかつたりと失敗の連続です。農業は1年に1回しか経験が積めない難しい仕事ですが、自然のエネルギーを毎日もらいながら、収穫するときのご利用者の笑顔に、これからも頑張ります。皆さん今後とも応援よろしくお願ひします。

来ない生きにくさを抱えた人たちに何とか自立への道筋を作りたいという思いで、この二年間試行錯誤で歩んできました。毎年最低賃金が上昇する中で、きちんと雇用契約を結んで給料を払うためには、売り上げがなければ、ご利用者を抱えることも出来ません。福寿園は特養13施設をはじめとする多くの事業を展開して



就労継続支援センター

あい福の里

社会福祉法人 福寿園



就労継続支援センター

# あい福の里は「農業」と



## 今後の課題

- 訓練給付費を増やす(利用者増)
- デリバリーの構築
- 販路の拡大
- 漬物の一般販売ができる安全管理
- 農業用機材の購入
- 一般就労に向けた長時間労働への挑戦(売り上げが必須)
- 椎茸の生育管理
- 一般農作物の品質向上
- 障がい特性の理解、適正に応じた仕事



## 連載 35

# 記録に残したい記憶 〜貴重な体験を語り継ぐ〜

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。



私は昭和2年に岐阜県恵那郡岩村町にて5人兄妹の4番目として生まれました。岩村の城下町に住んでおり、名物のカステラが大好物です。有名なカステラ屋さん近所だったので、両親がよく買ってはおやつに出してくれました。子供の頃は父親がとても可愛がってくれたことを覚えています。また一番上の兄はとも頭が良く、よく勉強を教えてもくれました。他の兄妹ともみんな仲が良く、大人になってからも兄妹そ

ろってよく旅行などに出掛けました。

私は小さい頃から和服に興味があり、縁あって当時柴田駅（名古屋市）近くにあったジャスコの呉服売り場に就職しました。就職当時、仕事の後に小林とよ子着物学院へ通い、着付けの技術を習得しました。地域の盆踊

りの時に浴衣の着付けをしたり、成人式の着付けをお手伝いしたりと、多くの場面で身に着けた着付けの技術を使うことができました。

勤務していたジャスコでは職員向けに教室が開かれており、もともと興味があったお花とお茶を仕事の後に習わせてもらいました。お茶は裏千家、お花は池坊を習っておりました。習い事の年数を重ねるうちに先生より「せっかくなら教えられるようになったら？」と声を掛けてもら



鈴木 あや  
(グループホームちた福寿の里)

## プロフィール

生年月日：昭和2年1月27日  
好きなこと…着物を着せること  
好きな食べ物…好き嫌いなく  
何でも食べる

い、それを機にさらに精進し、ついに教室を開くことになりました。知多市の自宅で週1回ずつ、お茶、お花、着付けの教室です。教室を開くにあたって、自宅の和室にお茶を点てられるように炉を設置したり、着付け用にマネキンを購入したりしました。マネキンは今から40

年位前の値段で2万円と高価な買い物でした。今でも自宅に残っています。教室は多い時には一度に7〜8人の生徒さんを教えたこともありました。生徒さんはセンスのあるなしや覚えの良し悪しなど、色んな人がみえて教えていてとても楽しかったです。

常に何かをしていた性格ではありますが、若い頃から休む間もなく働いてきました。それでも着物やお茶にお花と、自分が好きなことを人に教えられるという素敵な仕事ができたと

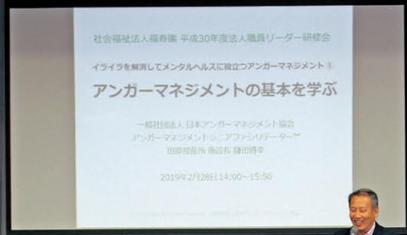


右から2番目が鈴木あやさん

# 職員リーダー研修会開催

2月28日、各施設幹部職員94名を対象に法人本部ひまわりホールにて、職員リーダー研修会を開催しました。山田理事長による新年度に向けての講義のあと、外部講師による、日本アンガーマネジメント協会ファシリテーターの鎌田博幸氏をお招きして「イライラを解消してメンタルヘル

スに役立つアンガーマネジメント」と題し、講義していただきました。アンガーマネジメントの基本を最初からわかりやすく講義していただいた後、演習を含めながら叱り方を学ばせていただきました。自分のイライラしたとき、怒りの感情のコントロールの仕方等を理解することで、今後職員への指導や育成、教育で実践していただきたいと思えます。研修で学んだことを実践し、活かしていくことで、リーダーとして一つスキルアップしてもらえることを望んでいます。



## 連載④

# 介護現場で生まれた マジックワード100

老人福祉施設のスタッフや入居者の生の声から  
紡ぎ出された小さな物語の数々

福寿園が発行した書籍『介護現場で生まれたマジックワード100』について、皆様よりお陰様で多くの反響が寄せられました。1ワードずつ感想を添えてご紹介します。



私も一緒だよ。今やろうと思っていたことを忘れちゃうもん。

私の働いている特別養護老人ホームでは認知症の方が何人かいます。その中のお一人の志乃さんが「最近忘れっぽくなってね…」とため息交じりで話してくれました。

「私も一緒だよ。今やろうと思っていたことを忘れちゃうもん」と答えると、志乃さんはにんまりして、「あんたもかね！一緒だね！」。お互い笑い合いました。認知症はものごとを忘れてしまったり、できていたことができなくなったりすることに不安や怒り、悲しみを感じます。志乃さんの気持ちに共感して、志乃さんがいつまでも自分らしく、幸せに生活で

きるよう、身体からだのケアだけでなく、心のケアも大切にしていこうと決めました。

(特別養護老人ホーム・看護職員)

・身体からだのケアだけでなく、心のケアも大切。その通り！と思った。

・認知症の方が感じている感情に寄り添い、「あなただけでなく私も一緒だよ」と伝えることで、少しでも不安を取り除いてもらいたいという優しさが伝わってきました。

# 各施設 TOPICS トピックス



## 「鬼は外！福は内！節分祭」

渥美福寿園

渥美福寿園では、少し早く2月1日に地域交流センターにて豆まきを行いました。

多くの入居者と在宅利用者が袋を持って、豆を投げる職員に「私の所にたくさんおくれんよ！」と声を掛けていました。童心に返って豆やお菓子を拾い合い、豆をたくさん拾うと「たくさん取れたよ」と満足そうな笑顔が見られました。

昼食はきりたんぼ鍋で、普段あまり食べることのない鍋でしたが、皆さんからは、「温かくておいしくて嬉しいよ」との声が多く聞かれました。豆まきも鍋も楽しんでもらえた笑顔の節分祭でした。



## 昭和の里 寿司バイキング

2月20日の昼食は、皆さん楽しみにされていた「寿司バイキング」が行われました。カニ・イクラが乗ったちらし寿司をはじめ、大人気のマグロ・サーモン・いなり・太巻き等お腹いっぱい召し上がりました。「めったに寿司屋さんには行けないので嬉しかったです。昭和の里では、いろいろな行事食が出るので、すごく楽しみにしてる。また、企画してね」と大好評でした。



## 「キッズルームはいつもにぎやか」

ひまわり邸

今日もキッズルームから元気な声が聞こえてきます。お散歩に出掛けたり、おままごとやダンスなど、お友達同士で楽しんでいきます。今日は新聞紙を千切ったり、新聞紙布団の上で気持ちよさそうに寝そべって遊んでいます。子供たちにかれば何でも遊び道具に変身しますね。今年度はひまわり邸の職員に、コウノトリがたくさん幸せを運んで来てくれました。また新しいお友達がたくさん増えそうです。安心してママもお仕事、頑張れそうですね。



## ちた福寿園デイサービス スイーツバイキング

2月14日はバレンタインということで、デザートバイキングを行いました。8種類のデザートと5種類のお飲み物を用意し、好きな物を選んでいただきました。皆様、すらすらと並んだスイーツに目移りしながらお皿に取り、賑やかな雰囲気の中、ケーキやプリンをほおばられていました。二度、三度とおかわりさ

れる方もみえ、「美味しいわ」「これは良いね」とのお声を多くいただきました。皆様の要望を聞き取りながら、今後も様々な行事を行っていきたいと思います。



## 認知症カフェ

毎月第2火曜日に、末野原交流館で認知症カフェを開催しています。

地域の方が気軽に立ち寄ることができるようにとの思いで、「おいでんカフェ」と名付けました。回覧板でのPRも功を奏して、毎回20名程の方が集まって来られます。今回は2月12日に開催しました。まだ寒い日が続いていますが、1ヶ月も経たないうちに桃の節句を迎えます。春の足音に耳を澄ましながら、皆さんと一緒に雛人形作りを行いました。「お雛様の顔が自分に似ちゃうんだよね」など、楽しい言葉が飛び交い、個性的な雛人形が出来上がりました。これからも、認知症になっても安心して暮らせる地域を目指し、垣根のないカフェを開催していきます。



心して暮らせる地域を目指し、垣根のないカフェを開催していきます。

## ケアハウスパシフィック

### 特別室完成

平成30年度は施設内の一部改修を行いました。介助用トイレの増設、非常階段の補修など、入居者さんがより過ごしやすい環境になるようにと進めました。その改修のひとつが特別室の整備です。もともとの個室の広さで



は荷物が入りきららないなどの要望を受け、二人部屋相当の面積で、浴室もついた特別室を2部屋作りしました。完成した部屋は日当たりも良く、居住スペースも広く快適な作りになっており、今後は入居希望の方の要望にさらにお応えしやすくなっています。

## 花の里

### ベビーカステラ店開店

今回のお楽しみクラブでは、ベビーカステラ店を開催しました。当日職員呼び掛けに皆さん「やるよ！」と意気込まれ、エプロンを着用するなり、たこ焼き器に流し込んだ生地を竹串で丸め始めました。「難しい」と言いながらも、上手に仕上げようと試行錯誤を重ね、職員も驚く程の出来栄でした。改めて年の功を感じさせられたひと時でした。出来上がった品は、おやつとして召し上がっていただきました。皆さんの喜ぶ姿に、お腹も心もいっぱいになった催しとなりました。



姿に、お腹も心もいっぱいになった催しとなりました。

## くすのきの里

### 高齢者交流センター 新春!!カラオケ大会

くすのきの里に併設されている高齢者交流センターで、毎年恒例となりました「新春!!カラオケ大会」が、1月23日に開催されました。今年は34名の方がエントリーされ、皆さん



くすのきの里に併設されている高齢者交流センターで、毎年恒例となりました「新春!!カラオケ大会」が、1月23日に開催されました。今年は34名の方がエントリーされ、皆さんが自慢の歌声を披露されました。予想以上に本格的なショーとなり、その中でも一際目を引いた方が、デイサービスにボランティアに来てくださったという横尾萬亀男さんでした。とてもお上手で、甘い歌声に、ファンクラブができるのでは?と思う程圧倒されました。初めて参加された方も本当に楽しかったと言ってくださり、皆さん笑顔で、今年一番の行事を満喫されました。

## 白寿のお祝い

特養の入居者がこの度、白寿を迎えられました。そこで、ご家族をお招きし、お祝いをしました。昼食にはすき焼き、おやつには大きなケーキを召し上がっていただき、職員からプレゼントもお渡ししました。周りのご利用者からは「肌がつやつやだからそんな年には見えないね」「百歳まであと少しだね」と声があがっていました。

どうかこれからも、お元気に過ごしてください。『白寿』本当におめでとうございます。



## 学習・生活支援 蕾(つばみ) 始まりました

1月11日より、毎週金曜日18時〜20時の2時間、地域の小・中学生を受け入れ、学習・生活支援事業を開始しました。子どもたちは毎週にこやかに通ってくれ、真剣な表情で勉強に取り組み、食事の時間ではみんなで協力し合って準備・片付けをしています。「宿題もしっかりとできるし、



福寿園のごはんを食べることが、今楽しみにして仕方ないよ」と子どもたちも話してくれるようになりました。地元の教員OBの方をはじめ、地域・大学生のボランティアさん、福寿園職員みなでこの事業を通し、子どもたちの小さな心の「蕾(つばみ)」が大きく花開くように、これからも携わっていきます。

## 合同防災訓練〜備えは大切Part2〜

2月14日、半田消防署武豊支署より3名、地域防災協力隊より3名をケアハウス武豊に招き、地震想定避難訓練を行いました。今回は地震発生後に

火災発生という設定で、実際に非常階段を利用し、地域の方々による外からの救助や、ケガ人が発生した場合の対



応などを想定した訓練となりました。また、消防署武豊支署の方々による、東日本大震災・淡路大震災での救助体験などを踏まえた講義も行ってもらいました。参加された入居者は真剣に取り組みできていました。いつ災害が起きても対応できるよう、今後も地域の方々と交流を大切にしていきます。

## 感謝のこころ忘れずに

「夏目ボラさん」の愛称で親しまれてきた、理容ボランティアの夏目勝さんが、昨年末を持って長年の活動を区切りにされました。



ご家族が福寿園を利用されたことをきっかけに、施設への恩返しになればとの思いで、理容師の腕を生かし、善意でボランティアを始めてくださいました。入居者や職員とお話をされながら散髪をする手際の良さは、さすが熟練の技。夏目さんの理容口はいつも多くの入居者がお世話になり、みなさんの気持ちまでさっぱりと整えてくれました。6年近くに渡る長いお付き合いの中で、夏目さんからいただいた温かなお気持ちは、いつまでも忘れることのない素敵な思い出です。「夏目ボラさん」、ありがとうございました。

養護盲福寿園

平成最後の初参り

寒々とした冬空が毎日続く中、あたたかな陽射しに恵まれた1月25日、2年ぶりとなる遠出の初詣に、豊川市にある砥鹿神社へ出掛けました。

東三河平野にそびえる本宮山に日本の国づくりをした大神様をお祀りする由緒ある神社で、櫻や楠の大樹に囲まれた御本社へ参拝しました。荘厳で神々しい空気を肌で感じながら柏手を打ち、静かに手を合わせながら皆さん思い思いに願いを唱えていました。その後、境内



のように勢よく進んでいきたいと願っています。

にある損社へもお参りし、迫力ある亥の大きな開運絵馬に「ご利益がありますように」と願掛けしました。年女の方は心新たに、他の方も良い年の初めを迎えられたと穏やかな笑顔が見られました。

鬼は外！福は内！節分！

デイサービスセンター きぬうら

2月1日に、デイサービスセンター きぬうらで2月行事の「節分祭」を行いました。当日は朝から職員が鬼の格好で仕事に入って雰囲気を作り、昼食では巻きずしを食べました。利用者さんからも「私も鬼の格好をしたいわ！」との声もあり、可愛らしい鬼も登場しました。その後、節分にちなんだレクリエーションやおやつで節分ケーキを食べたりと、節分尽くしの一日となりました。来



年はどんな鬼が登場するか、楽しみです。

ひまわりの街

ヘルパーセンター調理実習



2月6日竜神交流館にて、ヘルパー職員向けの調理実習を行いました。テーマは、高血圧症の方向けの食事です。調理前にまず食事や食材のポイント、1日に必要なエネルギー量の算出方法などについて学びました。その後、1食当たり塩分3グラム以下、500キロカロリー以下という範囲で、予め準備したメニューのレシピに沿って、調理を行いました。普段ご利用者宅での調理時には、調味料の分量を計測しながら行うことは少なく、今回の実習では、使用する調味料の分量を意識することや、食材の使用方法を変えるだけでもカロリーや塩分摂取量を抑えることができることを学びました。

田原ゆの里

あったか〜い鍋パーティー

まだまだ寒い日の続く2月、グループホームでは寄せ鍋を囲み、温まりました。鍋奉行は利用者さんにお任せし、「もつ煮えたかな、うどんはまだ入れなくていい？」と、会話が弾みました。「嫌いなものはない？」と、利用者同士確認しながら上手に盛り付けてくれました。ユニット内はいい匂いに包まれ、いつもより楽しい雰囲気の中での昼食となりました。また、皆で美味しいもの



を作って食べたいですね。

## 大相撲星取予想 年間MVP決定

毎年恒例の法人内施設全体による大相撲星取予想年間上位者が発表されました。今年はケアハウスパシフィックの石原康伊さんが優勝に輝き、理事長より賞状と記念品が贈られました。



平成30年度  
(平成30年春場所～平成31年初場所)  
大相撲星取予想  
法人年間総得点ベスト10

順位	名前	施設名	総得点
一	石原康伊	ケアハウスパシフィック	三六、八二〇
二	小林新藏	看護盲港人ホーム福寿園	三〇、〇五〇
三	鈴木静枝	看護盲港人ホーム福寿園	二七、三三〇
四	今村勇	ケアハウスきぬうら	二七、三三〇
五	掛橋勝治	看護盲港人ホーム福寿園	二七、〇三〇
六	花井幸多	ケアハウスパシフィック	二七、〇三〇
七	萩原源文	ケアハウスきぬうら	二七、〇三〇
八	加藤金作	看護盲港人ホーム福寿園	二六、八八〇
九	竹本新治	ケアハウスきぬうら	二六、八八〇
十	澤田錦男	ケアハウスきぬうら	二六、八八〇



## 福寿園介護職員 初任者研修修了式



2月20日に介護職員初任者研修の修了式がひまわりの街で行われました。9月～2月の約5ヶ月間、延べ130時間のカリキュラムを受講し、受講者10名無事に修了試験に合格することができました。大切な介護人財として、今後のご活躍が期待されます。

## 介護福祉士国家試験に向けてのEPA合宿

1月27日に、年に一度の介護福祉士国家試験が行われました。福寿園では、フィリピン・ベトナムのEPA介護福祉士候補者19名が受験をしました。EPA介護福祉士候補者は、国家試験に合格できなければ在留ビザの更新ができず、国に帰らなくてはなりません。合格を目指し、今年は法人本部のひまわりホールにて国家試験の直前合宿を行いました。合宿では参加者全員が意欲的に学習へ取り組み、朝から夜まで問題を解き、また互いに教えあうことで知識を確実なものにしていました。



合格発表は3月27日です。それまではドキドキしながら待たなければいけません、一人でも多く合格したという喜びの声を聞きたいと切に願います。

## 職員交換研修

福寿園では毎年、法人のスケールメリットを活かした研修体系の一環として、施設間での職員交換研修を実施しています。今年度も2月4日～6日、12日～14日、18日～20日の日程で行われました。職員個人の資質の向上を目的とし、入社2～4年目の職員を対象に、総勢37名の職員が、それぞれの目標を掲げ研修に臨みました。お互いの良いところを吸収し合いながら、法人全体的な質のレベルアップにつながっていくことを期待します。

## 東三河日本語スピーチコンテスト入賞!

1月27日、新城市文化会館にて豊橋市・蒲郡市・豊川市・新城市・田原市のスピーチコンテストを勝ち抜いてきた出場者たちが集まり、日本語による発表大会が行われました。

各市の代表が集まるとあってとても流暢な日本語で発表がありました。福寿園からは田原市の代表として2名が出場し、花の里ミッシェルさんが2位の優秀賞。田原福寿園ハンさんが3位の特別賞を受賞しました。2人とも来日してまだ1年ぐらいますが、これを励みにさらに日本語の向上を目指してほしいと思います。

### 第9回 東三河日本語スピーチコンテスト



## AEDご寄贈いただきました

ちた福寿園



1月25日、スギ薬局様×クラシ工様共同企画として、AEDをご寄贈いただきました。今回は、豊明市と知多市の高齢者施設への寄贈であり、愛知県の百力所を超える施設に寄贈していただいているようです。また、寄贈後には、AED講習会を自施設で行っていただきました。AEDを有効に活用し、入居者の安全な生活を支援できるように進めて参りたいと思います。

## 井郷中学校より車椅子寄贈

豊田福寿園

2月18日、井郷中学校より車椅子をご寄贈いただきました。井郷中福祉委員会は「ふだんのくらしのしあわせに」をモットーに活動されています。昨年11月に清掃ボランティア活動で当施設にお越しいただいた際に、自分たちにはできることは何かと考え、「一人の力は小さいが、全校生徒で集まれば大きな力になる。毎年行っている募金を寄付ではなく、車椅子を購入し寄贈という形にすることで、長く誰かの役に立つのではないか」という貢献感を高め活動され、本日に伺いました。寄贈して下さったことに感謝し、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



2月24日に家族会勉強会として、良正庵庵主の小林良正先生をお招きして勉強会を開催いたしました。14家族19名の方にご参加いただき、入居者の方も5名程参加され、看取りなどについて、良正先生の体験やお考えなどをお話し

### ちた福寿園 家族会勉強会

いただきました。講話中は笑いもあり、話に引き込まれ、あっという間の1時間半でした。勉強会の後は昼食会として福寿園特製のカレーライスを提供し、バイキング形式のトッピングも楽しんでいただきました。

2月10日、家族親睦会勉強会に浄土宗尼僧・良正庵庵主である小林良正先生にお越しいただきました。良正先生自身のご病気のことや介護の経験をもとに、親子の絆や人の最期について、時々笑いも交えながら、講話をしていただきました。約20名のご家族が参加され、真剣な様子で良正先生の講話を聞いてみました。その後昼食も食べ、ご家族同士の親交



### 東海福寿園 家族親睦会勉強会

にも繋がった会になったと思います。

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

## 家族会だより

# ボランティアさんいつも ありがとうございます。

日頃、施設でお世話になっています  
ボランティアさんを紹介させていただきます。

ひまわり邸

## 書道クラブ

講師 神谷 直 先生

月に一度、特養、グループホームの利用者さんに習字の手ほどきをしていただきます。「習字なんて小さい頃やったっきり。久しぶりに書いた。手が震えてうまく書けないけど先生が手を取って指導してくださるから嬉しい。上手ではないけど褒めて下さるのでやる気ができます。この時間がとても楽しみです。」と利用者さんの声です。先生は添削するたびに、笑顔と温かい言葉をかけてくださいます。いつもありがとうございます。これからもよろしくをお願いします。



## ■ 神谷先生より

「定年後何かやらないとボケてしまう」との思いから、字を書くことは頭を使うと習字を始めました。家族会の会長さんとは知人で、ひまわり邸で習字を教えてくれないかと声がかかってから、早一年が経とうとしています。一人でも多くの方に書道に馴染んでもらいたいという思いから、書道クラブを引き受けました。今では利用者さんの笑顔に元気をもらっています。私も86歳になりますが、これからも体の続く限り、続けていきたいと思っています。

# 外国人 介護福祉士 候補者リレーインタビュー

福寿園では、現在51名のフィリピン人、7名のベトナム人介護福祉士(候補者)が10施設に分かれて働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか？  
A 日本の生活水準が高いので、それを知るために日本に来ました。  
Q 日本に来て一番驚いたことは何ですか？  
A ごみの分別がしっかりしている所です。  
Q 介護をしていて一番楽しい時はどんな時ですか？  
A 利用者とのコミュニケーションをとる時です。  
Q 休日は何をしていますか？  
A ゴロゴロしたり、映画を見たり、勉強もしています。  
Q 好きな日本食・嫌いな日本食を教えてください。  
A 好きな物は焼き肉です。嫌いな物はワサビと生ものです。  
Q 趣味は何ですか？  
A カラオケ。下手ですが、宇多田ヒカルのfirst loveやAIのstoryが好きです。  
Q 将来の夢は何ですか？  
A 介護福祉士を合格したいです！そしてフィリピンにいる夫を日本に呼び寄せたいです。



ヘイゼル・ダエルト  
ニックネーム  
ヘイゼル  
みなみ福寿園

## New ひまわり ギャラリ

入居者・  
利用者さんの作品  
をご紹介します。

作品

### 編み物、パッチワーク



ケアハウス武豊入居者 池田 昌子 さん

刺繍やパッチワーク等、手芸が趣味で、  
いろいろ取り組んでいます。



平成31年3月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008

■理事長/山田浩三

http://www.fukujuen.or.jp

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。